

令和7年度
「介護テクノロジー等活用ミーティング」開催のご案内
～ 本音で語ろう！ 介護現場で働くみんなの情報交換会 ～

1. 背景・目的

高齢者の急増から現役世代の急減に局面が変化するなか、介護ロボットやICT等のテクノロジーを上手に活用し、介護現場の生産性を向上する取り組みが各所で実施されています。

一方、テクノロジーを高齢者・障害者介護の現場において利用する場合、利用者のADLの維持・向上と安全確保は勿論のこと、介護サービスの質や介護職員の負担軽減にも十分配慮しながら導入・利活用することが求められます。

こうした背景のもと、当協会では昨年度に続き、介護テクノロジー等(福祉用具やロボット・ICT 機器を含む。)の導入及び利活用に関する情報交換の場として「介護テクノロジー等活用ミーティング」をオンライン開催することといたしました。

本ミーティングでは、介護テクノロジーの導入・利活用にあたっての工夫や課題を共有化し、介護現場における介護テクノロジーの効果的な活用を促し、楽しく・働きやすい職場環境の構築を推進することを目的といたします。

参加を希望する方は、協会ホームページからお申込みください。



2. 開催予定

全5回、下記の日付とテーマで開催いたします。

※詳細は、別紙(日程表)をご覧ください。

11月				
25日(火)	26日(水)	27日(木)	28日(金)	29日(土)
オンライン開催				
13時～15時				
開催テーマ				
A	B	C	D	E
介護機器等を活用した <u>生産性向上の取組み</u> を推進しよう	介護機器等を活用した <u>安心・安全な介護</u> を実現しよう	介護機器等を活用する <u>ICT/DX化</u> を推進しよう	デイサービス等における <u>訓練・介護機器等の導入・利活用</u> を考えよう	居宅介護サービスにおける <u>介護機器及びICTの導入・利活用</u> を考えよう

1)内容

- ①介護テクノロジー等に関する最新情報など(厚生労働省)
- ②都道府県における生産性向上に関する取組状況
- ③介護施設・事業所等による発表(2者)
- ④フリートーク(情報や課題の共有)

別紙参照

2)主な参加者

介護施設・事業所の施設長又は所長、介護主任(リーダー)、介護機器等の導入担当者、介護現場で介護機器等を取り扱う職員、行政 等

- 特別養護老人ホーム ○介護老人保健施設 ○有料老人ホーム ○グループホーム
- 軽費老人ホーム ○養護老人ホーム ○居宅介護サービス ○行政 等

3)定員

80名~100名程度(先着順)

※定員となりしだい、締め切らせていただきます。



4)開催方法

ズームミーティングを活用したオンライン開催とさせていただきます。



5)参加者申込み(無料・先着順)

参加申込みは、令和7年11月24日(月・祝)12時までとさせていただきます。
当協会ホームページから行ってください。



申し込み先(協会HP):

https://www.techno-aids.or.jp/robot/jigyo.shtml#tab39_detial



注)本ミーティングは、オンラインによるリアルタイム配信のみとなります。別の日には視聴できません。

3. 本件に関する問い合わせ先

公益財団法人テクノエイド協会 担当:伊東、松本、堀江、五島

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1番1号 セントラルプラザ4階

電話 03-3266-6883 FAX 03-3266-6885

E-mail robocare@techno-aids.or.jp

令和7年度 介護テクノロジー等活用ミーティング 日程表(案)
～ 本音で語ろう！ 介護現場で働くみんなの情報交換会 ～

1. 開催日	11月				
	25日(火)	26日(水)	27日(木)	28日(金)	29日(土)
2. 時間	13：00～15：00				
3. 開催方法	オンライン開催				
4. 主なテーマ	A	B	C	D	E
	介護機器等を活用した 生産性向上の取組み を推進しよう	介護機 器等を活用した 安心・安全な介護 を実現しよう	介護機 器等を活用する ICT/DX化 を推 進よう	デイサービス等における 訓練・介護機 器等の導入・利活用 を考えよう	居宅介護サービスにおける 介護機 器及びICTの導入・利活用 を考えよう
5. 募集人数	各回ともに、80名～100名(先着順)				
6. 参加対象者	介護施設・事業所の施設長又は所長、介護主任(リーダー)、介護機 器等の導入担当者、介護現場で介護機 器等を取り扱う職員、行政 等				
7. 内容	(敬称略)				
◆開会 13:00～ 公益財団法人テクノエイド協会 活用ミーティング開催の背景、ねらい					
セッション1 (13:05～14:15)	1. 介護テクノロジーの効果的な活用を促し、楽しく・働きやすい職場環境を考えよう				
	①介護テクノロジー等に関する最新情報など(15分) 13:05-13:20				
	介護現場における 生産性向上の重要性とその施策について 厚生労働省老健局高齢者支援課 介護業務効率化・生産性向上推進室 介護テクノロジー政策調整官 佐藤 修一				
	②都道府県における生産性向上の取組に関する調査及び普及支援(中央管理事業)(15分) 13:20-13:35				
	都道府県における 生産性向上に関する取組状況 NTTデータ経営研究所 片岡 真一郎 / 小松 夢希子				
	③介護テクノロジーの導入、利活用に伴う工夫や課題、アイデア等について(各20分)13:35-14:15				
	ICTを活用し、基本型から超強化型へ進化する ～生産性向上を意識した現場改革～ 介護老人保健施設ささづ苑かがやき 課長 谷川 瞳	安心と効率を両立する ～介護現場の新たな挑戦～ 介護老人保健施設 リハビリセンターグリーンTAOKA 施設長 中川 清美	質の高い排泄管理を目指して ～トイレセンサー導入の試み～ 介護老人保健施設 いるかの家リハビリテーションセンター 介護副主任 安原 尚美	介護テクノロジーによる効果から推測される介護体系への一考察 社会福祉法人 友愛十字会 砧ホーム・砧デイサービス 副主任機能訓練指導員 小谷野 祐樹	訪問介護事業の存続をかけたDX化の取り組みとその成果 アンタレスホームヘルパーステーション 在宅部長 鈴木 雅晴
	記録を力に、質と効率を両立する ～ICTを活用して介護を変える～ 社会福祉法人立縫会 特別養護老人ホーム立縫の里 施設長 黒木敦裕	入居者に寄り添う未来の私たち ～生産性向上とウェルビーイングの好循環～ 盲養護老人ホーム 光明荘 総務主任兼主任生活相談員 角田 紀子	職員申送ノート(紙媒体)のICT/DX化 ～LINEWORKS他を活用した体制構築～ 小規模多機能型居宅介護 グリーンヒル八千代台 課長 管理者 大竹 暁	認知機能と運動機能の同時改善を目指して ～脳体カトレナーCogEvo活用の一例～ 介護老人保健施設ケアコートもりおか リハビリテーション科科长 内記 明信	現場が変わる！ ICTと介護機器のコラボ活用が生み出す新たな支援のかたち 株式会社来夢 リハ・ハウス来夢 管理者統括 矢代 虎太郎
個人ワーク (14:15～14:25)	2. 現状と課題の整理 セッション1を踏まえて、現状と課題、発言内容の整理				
セッション2 (14:25～15:00)	3. 現場の思いをぶつけ、みんなの考えを聞こう(介護テクノロジー等の導入や利用にあたっての工夫や課題の共有化) オンライン上でフリーに意見交換や情報交換を行いましょう				

※各開催日の定員は、80名～100名(先着順)とさせていただきます。(定員となりしだい締切させていただきます。)